

いしづち

愛媛労災病院広報紙第16巻第1号

（通巻第79号）

2017年1月5日発行

発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 4) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 5) 医療に積極的に取り組む義務
- 6) 快適な医療環境づくりに協力する義務

年頭のご挨拶

病院長 宮内文久

愛媛労災病院は昭和31年4月3日内科・外科・整形外科の3診療科50床で診療を開始しました。その後、診療活動は60年を経過し、現在は61年目になります。その間、病床数の返上や診療科の引揚げなどがありましたが、今日まで診療活動を継続することができたのも職員の皆様方のご協力とご尽力の賜物と考えます。

昨年11月10日にはリーガロイヤルホテルで60周年を祝うとともに、医師会の諸先生方・地域の病院や介護施設の皆様方とともにこれからの発展を誓い合うことになりました。また、昨年の11月5日にはあかがねミュージアムで第14回女性医療フォーラムを開催することができました。

この10年間、私たちは病院の理念を変更することなく診療活動に従事してきました。というのも、私たちの病院の理念は私たちが目指す基本原則にのっとったものであり、私たちの現在及び未来を指し示すものだと考えているからです。「働く人々のために、そして地域の人々のために」と理念に

ありますように、地域の人々の健康の維持増進と労働者の健康の維持増進とに、これからも努めていきたいと考えています。

そのためにも、私たちは経営基盤の確立に努めなければならず、昨年

9月1日に導入した地域包括ケア病棟の充実や北館の急性期病棟の発展を、是非とも成し遂げなければなりません。

最後になりますが、私の仕事は「地域の皆様から信頼される病院」「働きやすい病院」を目指して、病院で働く皆様と共に頑張ることだと考えています。そして、なんとしても医師の確保に努めたいと思っています。



子供へのワクチン接種のプレゼント…………… 2

血管造影装置を更新いたしました…………… 3

外来紹介…………… 3

第14回 女性医療フォーラムを開催しました…………… 4

地域連携懇話会の開催を終えて…………… 4

市民公開講座開催のお知らせ…………… 4

子供へのワクチン接種のプレゼント

小児科副部長 河上早苗

今日生まれた赤ちゃんが1歳までに受けるワクチンは何種類あるかご存知ですか？ワクチン接種は生後2か月から可能ですが、定期接種のワクチンだけで、インフルエンザ桿菌ワクチン（インフルエンザウイルスワクチンではありません）、肺炎球菌ワクチン、B型肝炎ワクチン、4種混合ワクチン（ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ）、BCGがあります。これらのワクチンがそれぞれ複数回ありますので、順調にワクチン接種が可能であれば、1歳までに13回針を刺すことになります。見ている親からすればかわいそうになってしまうこともあるかもしれませんが、実際インフルエンザ桿菌ワクチン、肺炎球菌ワクチンは赤ちゃんから幼児の髄膜炎の減少という効果を発揮していますし、4種混合ワクチンを接種していなかった兄弟間で百日咳に罹患した患者さんもおられます。

B型肝炎ワクチンは平成28年4月出生の赤ちゃんから定期接種となりました。B型肝炎は小さいときには感染しないからワクチンはしなくてよいだろうという考えもあるかもしれませんが、実際に家族に感染者がいなくても子供のみB型肝炎に罹患したケースもあり、感染経路がはっきりしないものもあります。また厄介なのが免疫力の未熟な乳幼児の間に罹患した場合には、ウイルスを排除することがなく、長期間共存してしまい、慢性肝炎、肝硬変の経過の後、肝臓がんの原因になることが知られています。

もちろんワクチンによる副作用は全くないわけではありません。重篤なものは少ないですが、ワクチン接種後の発熱、接種部位の硬結などは時々見られます。しかし子供が大きくなった後に万が一肝炎に罹患してしまい、予防できるものだったらあの時接種していれば…と後悔するかもしれません。接種されていない方は接種することをお勧めします。（ただし、平成28年4月以降に出生した方以外は、任意接種ですので料金がかかります。）

また任意接種ではありますが、冬に流行し、嘔

吐下痢をおこすロタウイルスも予防接種が可能です。かなり高価なワクチンですが、接種による効果はかなり期待できます。

1歳を超えれば、麻疹・風疹ウイルスワクチン、水痘ワクチン、（よければおたふくかぜワクチンも）が接種できますので、1歳のお誕生日のプレゼントに忘れないようにお願いします。



血管造影装置を更新いたしました

中央放射線部長 巻 幡 弘

これまで以上に、正確で迅速な低侵襲検査、治療が可能となります。



島津社製 トリニアスB12

今回更新いたしました血管造影装置は3つの特徴があります。

一つ目にワークステーションに術前CT画像を取り込み、血管撮影システムのCアームとの角度連携や透視との重ね合わせが可能になりました。

CT画像を直接治療画像に結びつけることで、術前の治療計画から術中ナビゲーションまでをスムーズに行えます。

二つ目に心拍により常に動いているステントをリアルタイムで固定・強調表示する機能に加え、直前の透視画像などからROI（関心領域）を設定できる機能を新たに追加しました。透視画像上で検出エリアを絞り込むことで、複数デバイスを使用する手技においてもデバイスの検出率が飛躍的に向上し、治療時間の短縮につながります。

三つ目にトレースマッピング機能を使用することで、透視画像と重ねることでワイヤーやデバイスの視認性を飛躍的に高めることができますので、造影濃度の均一化が特に困難な大動脈における血管内治療に役立つとともに、造影剤の低減にもつながります。

外来紹介

外来師長補佐 神野結花



リニューアルした血管造影室

当院外来は19診療科あり、看護師による専門外来も行っています。医療安全面では各外来の受付窓口でのトリアージや、誤認防止のための確認作業に細心の注意を払っています。また、災害時や急変時にも慌てることなく対応できるように、訓練やシミュレーション研修を行い、一人一人の

スキルアップに努めています。

看護師の専門外来では、病棟助産師と協力して助産外来を行っているほか、今年度は糖尿病認定看護師を中心にフットケア外来に力を入れ、昨年に比べてくさんの患者様に利用していただきました。当院以外で治療中の糖尿病患者様にも足のお手入れをすすめ、足病変の予防と早期発見に努めており、とても好評です。

さらに循環器科のホットライン開設により、地域病院や消防とのスムーズな連携がはかれたと好評価をいただいております。11月には血管造影室もリニューアルし、最新機器での血管内治療を行っています。

これからも、患者様に安全で安心して診療を受けていただけるように、日々研鑽していきます。

第14回 女性医療フォーラムを開催しました

総務課庶務係 久次 真生

近年話題にあがっている女性の社会進出について皆さんはどのような意見をお持ちですか。

労災病院グループでは、働く女性の健康管理とQuality of Working Life (QWL) の向上を目的とした「女性医療フォーラム」を毎年開催しており、14回目となる今回は「女性の社会進出とそれを拒むもの」をテーマとして、愛媛県新居浜市にて市の後援をいただき開催いたしました。

第一部では働く女性を代表し、株式会社クック・チャム代表取締役社長 藤田 敏子様、東京大学大学院教育学研究科・教育学部教授 本田 由紀様を講師としてお迎えし、特別講演を行いました。藤田社長の女性経営者としての考え方や取組み、行動力に感銘を受け、本田教授の大学教授の視点からの調査結果に基づいた講演に、時間が経つのがあっという間に感じました。

また、第二部では、愛媛県議会議員の古川 拓哉様、新居浜市教育委員会委員の三木 由紀子様、愛媛大学医学部附属病院施設内保育園「あいあいキッズ」園長の有田 美貴様、愛媛労災病院 小児科副部長 河上 早苗医師の4名のシンポジストとともに、「女性の社会進出と子育て」をテーマとしたシンポジウムを行いました。多職種、様々な立場からの意見に仕事と育児の両立の難しさや、地域や人とのつながりの大切さを実感するシン

ポジウムとなりました。

地域の皆様からも大変ご好評をいただき、本フォーラムにご参加いただいた皆様及び関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

末筆となりましたが、当院は女性が働きやすい職場環境の構築に向け、より一層取り組む所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



地域連携懇話会の開催を終えて

医事課長 久保 近 敏

平成28年11月10日（木曜）にリーガロイヤルホテル新居浜にて地域連携懇話会を開催しました。

この会は、愛媛労災病院と地域の医療機関の皆様との医療連携を今まで以上に密にすることを目的に毎年開催しております。

今年度は、地域の医療機関の関係者の皆様93名の方々にご参加いただきました。

懇話会にて、当院から地域連携の取り組みとして、(1) 周術期・医科歯科連携について、(2) 放射線科による地域連携の取り組みについて、(3) 認定看護師の活動についての講演を行いました。

続けて開催した意見交換会では、当院各診療科の院長等を当院医師が地域の医療機関の皆様へ説明させて

いただきました。

また、当院は皆様方のおかげで、60周年を迎えることができましたこと、感謝申し上げますとともに、今後も地域の医療機関の皆様との連携を密にし、地域医療に貢献できるよう努力する所存でございます。

これからも、愛媛労災病院との地域医療連携について宜しくお願いいたします。



市民公開講座開催のお知らせ

平成29年2月11日(土)13:00～新居浜市市民文化センターにおいて、「地域の医療・介護を考える」をテーマとした市民公開講座を開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

広報誌編集メンバー 委員長：福井脳神経外科部長 委員：木戸副院長、山田医局長、日野看護師長、和田看護師長補佐、加地看護師、大成薬剤師、小川作業療法士、正岡診療放射線技師、豊島臨床検査技師、今村管理栄養士、小尻総務課長、岸上総務課員、中山診療情報管理士、久次総務課員